

# 来週の「売り物」記事はこれ



2013年2月15日号 毎日新聞東京本社 編集局・販促宣伝部

## 女装に化粧…

女になりたがる男の「事情」 朝刊 17日（日）



化粧やかわいらしい服で女性に「変身」する男性が、増えています。女装専門の雑誌まで登場し、愛好家が集うイベントは大盛況です。「女装男子」「女装子（じょそこ）」「男の娘（こ）」などと呼ばれてます。「彼女」らは性同一性障害や性的指向からではなく、女の装いそのものを楽しんでいるようです。年齢層は中高年から若者世代までさまざまですが、「彼



女」らの本音を探ると、世代によって微妙な違いがあることに気がつかされます。とりわけ、若い世代には「生きづらい男社会」や、男でいることの閉塞（へいそく）感が、現実社会の映し鏡のように見えてくるのです。

日曜朝は『S』で始まる——。ストーリーにご期待ください。

## シリーズインタビュー「時代を駆ける」

若手の人気俳優 高良健吾さん

19日から23日



「軽蔑」「苦役列車」などに出演し、日本映画界の若手俳優の中でも人気・実力を兼ね備えた高良健吾さん（25）＝写真。近年は、NHKの連続テレビ小説「おひさま」などテレビドラマへの出演も増え、お茶の間での知名度もアップしています。23日から全国公開される映画「横道世之介」では、周囲の人たちをいつの間にか幸せな気分にしてしまう大学生世之介を演じ、新境地を開きました。1本1本の作品に全力投入し、役に徹する演技への姿勢はすでに高い評価を受けています。時代の映画界を担う若手トップランナーの思いを5回にわたって紹介します。

## 連載「境界を生きる」

くらしナビ生活面 18日（月）～21日（木）

2009年秋から掲載している好評連載。今回は同性を愛する人たちを取り上げます。異性愛が普通と思われる社会の中で、時に差別の対象にもされてきましたが、彼らを取り巻く状況には変化の兆しもあります。性的マイノリティー（少数者）である彼らの生き方を通して、さまざまな人がそれぞれに生きやすい社会とはどんな社会かを考えます。



## ランナーにおすすめの食事法

くらしナビ食べる面 19日 (火)



「ラン」ブームが続いています。2月24日開催予定の東京マラソンの倍率は過去最高の10倍だとか。走る前にどんな食事を取ればいいのか、どんな栄養素が必要かを、アスリートフードマイスターの村山彩さんに聞きました。疲労回復に効果があるとされるトマトを使った「トマトと豚肉のリカバリー丼」、「プチトマト勝負おにぎり」などのレシピも紹介します。

## 男のおしゃれ

くらしナビ装う面 21日 (木)

今回の読者モデルは生協勤務で2児の父でもある40歳の男性。仕事はスーツ姿で済ませています。子ども幼稚園の行事で着る服に悩んでいます。40歳を機に変身したいと応募しました。おなじみの「おじさん変身させ隊！」のメンバーが出勤。ジャージー素材のジャケットと小花柄のシャツに、発色の良いニットを合わせ、ボトムスはデニムを選択。すると一気に若々しい雰囲気に変身しました。キーワードは「清潔感と遊び心」です。



## 「月刊 都市対抗」がスタート — 日本一監督と横浜市長が対談



社会人野球の頂点を争う第84回都市対抗野球大会（7月12～23日、東京ドーム。毎日新聞社、日本野球連盟主催）に向けた「月刊」の特集紙面が19日スタートします。第1回のメインは、前回大会で歴代最多となる10回目の優勝を果たした横浜市・JX-Eneosの大久保秀昭監督と、林文子・横浜市長の対談です。昨年の決勝で、選手に胴上げされた林市長は「きちっとビジネスもやりながら野球に魂をこめている」と社会人選手をたたえ、大久保監督は「おれたちは地元と会社のためにプレーする」と語ります。特集は3月以降、毎月第2火曜日に掲載する予定です。

## 日本一美しい32歳 壇蜜に会いに行く

夕刊特集ワイド 19日 (火)

なんとも不思議な味わいの壇蜜は目下、グラビアにテレビに引っ張りだこ。昨年公開の主演映画「私の奴隷になりなさい」はロングランだ。秋田県生まれで、幼いころに東京に移り住んだ。中学時代に「愛人」というあだ名がついた壇蜜。その秘密を探るべくおやじ記者が突撃し、問いかけた。「あなたは何者ですか?」「どこへ行くんですか?」

